

27年4月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年 4月1日～ 27年4月10日

2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
4月分の回答企業数は13社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/4月	27/5月	27/6月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 31.8	△ 31.8	△ 36.4
	マツ	△ 50.0	△ 54.5	△ 59.1
	広葉樹	△ 30.8	△ 38.5	△ 38.5
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 20.0	△ 30.0	△ 15.0
	マツ	△ 20.0	△ 35.0	△ 15.0
	広葉樹	△ 8.3	△ 16.7	△ 4.2
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 36.4	△ 31.8	△ 36.4
	マツ	△ 45.5	△ 50.0	△ 54.5
	広葉樹	△ 26.9	△ 23.1	△ 38.5

・チップ用国産原木の入荷、消費及び在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/4月	27/5月	27/6月
スギ・ヒノキ	31.8	13.6	9.1
マツ類	27.3	13.6	13.6
広葉樹	19.2	0.0	0.0

・チップ用国産原木の購入価格は、総じて強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)
 ・仕入、消費は材料品薄のためやや減少（東北）。
 ・雪解けと共に作業条件が悪く、入荷減少し、生産減少、在庫も減少（東北）。
 ・広葉樹は天候の安定で仕入れ増加傾向、針葉樹は再生事業、システム販売の26年度分が終了し、入荷量は減少（東北）。
 ・雪は消えつつあるが、搬出路が悪く、十分な出材が出来ない、5月、6月には良くなる。バイオマスとの関係で針葉樹の入材が少なく困っている（中部）。
 ・F I T関係へ原木が流れ、チップ材入荷は減少。製紙会社の需要は大きい、原木が入らないため供給が出来ない（中部）。
 ・変動なし（中国）。
 ・発電事業体の稼働にて原木の取り合いが起こり、仕入れ減少、消費、在庫も減少（四国）。
 ・4月は全樹種前月と変わりなく入荷、6月は梅雨で入荷は少な目。スギ5月の入荷はシステム販売、製紙用の入荷予想のため増加。全樹種ともフル稼働生産、5月は製紙会社の点検月で減産、6月は通常のフル稼働。在庫は、バイオマス用は未だ出荷なく、積み増し中。5月は減算月のため在庫増加（九州）。
 ・仕入れは低調に推移（九州）。

(原木価格)
 ・材料不足で少しづつ値上がり（東北）。
 ・バイオマス発電の原木価格が定着し、値上がっている（中部）。
 ・4月は変動なし。5月は見直しが予測される（中国）。
 ・変動なし（四国）。
 ・システム販売H27年度上半期分は前期より少々上がって成約、民有林間伐材等一部地域で高騰しているようだが今のところこれ以上の価格では手が出せない。製紙用の原木を前向きに上げて購入する。広葉樹も間伐材に相当する材は価格を上げて購入し、製紙用に向けている。採算はきついが、カスケード利用が原則（九州）。
 ・現状で推移（九州）。

27年4月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/4月	27/5月	27/6月
生産動向	スギ・ヒノキ	△ 30.0	△ 45.0	△ 30.0
	マツ類	△ 40.0	△ 40.0	△ 45.0
	広葉樹	△ 16.7	△ 29.2	△ 20.8
出荷動向	スギ・ヒノキ	△ 15.0	△ 35.0	△ 15.0
	マツ類	△ 27.3	△ 27.3	△ 36.4
	広葉樹	△ 19.2	△ 30.8	△ 11.5
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 44.4	△ 44.4	△ 50.0
	マツ類	△ 55.6	△ 61.1	△ 61.1
	広葉樹	△ 50.0	△ 55.0	△ 55.0

・木材チップの生産、出荷及び在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	27/4月	27/5月	27/6月
スギ・ヒノキ類	35.0	0.0	0.0
マツ類	25.0	0.0	0.0
広葉樹	33.3	0.0	0.0

・木材チップ出荷価格は、強保合で推移。

モニターからのコメント

(木材チップ荷動き)

- ・生産は材料品薄のためやや減少（東北）。
- ・入荷減少で生産も減少、出荷変わらず（東北）。
- ・燃料、チップの増加が見込まれる（東北）。
- ・原木確保できず、生産減少。需要に対し材の確保が進まず、出荷減（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・燃料用は安定であるが製紙・ボード用は原木不足にて生産減少、出荷減少、在庫減少（四国）。
- ・3月は減産予定だったが月末から増産、4月も全樹種フル生産。5月減産、6月から通常に戻る（九州）。
- ・生産は低調で推移、出荷数量は変わらず、出荷減で在庫あり（九州）。

(木材チップ価格)

- ・実質4月からの値上げ（東北）。
- ・広葉樹、スギチップは4月からやや上昇（中国）。
- ・バイオマス燃料用は横ばい。製紙用はバイオマス燃料対策にてやや上昇見込み（四国）。
- ・今回安定供給のためスギ、ヒノキ、広葉樹共適正レベルに改訂（九州）。
- ・
- ・
- ・